

02 特集1
つながる力

08 特集2
第5次総合計画意識調査
市民満足度調査 結果報告

12 特集3
美濃加茂市の中期財政計画

14 NEWS&TOPICS
消防操法大会・競練会
伊深小学校児童が米作り体験
少年の主張美濃加茂大会 etc...

16 MINOKA-MODE
子育てを楽しもう
保健センター通信
環境だより
ミュージアムニュース

20 Information wide
市役所からの大切なお知らせ

22 Information board
募集・講座・イベント情報など

34 Information a la Carte
各施設のご案内
もっと知りたい市政情報
人口と世帯数
火災の発生件数
交通事故の発生件数
新着図書を紹介
休日当番のご案内
今月号の表紙・編集後記

36 Book Cover
高橋余一の「生活絵巻」
食改さんのおすすめレシピ

つながる力

経済が成長すれば本当にまちは発展し、人々は幸せになれるのでしょうか？
先が見えない政治や世界経済、急速に成熟化する社会の姿を目の当たりにし
て、誰もがこれまでの常識だと思っていたことに疑問を持ち始めています。
今号では、「幸せな地域は、幸せになりたい自分たちでつくるのが一番」と
気付いた人たちが、良質なつながりを生み、その力で社会変革を起こそうとし
ている様子を紹介します。

つながることで幸福感をアップ

国は、高度経済成長がもたらす税収を背景に、地方交付税や国庫支出金を出して自治体の財政を支えてきました。
しかし、こうした仕組みは、1980年代後半ごろから次第に機能しなくなりました。GDPが増えなければ税収も増えず、国が地方を財政的に支えきれなくなっています。
地方は、これまでのような全国一律型の右肩上がりの経済を前提とした仕組みに期待できない時代に入っているのです。
もはや私たちは気付いています。このまちな「幸せ」は大都市とは違うということ。そして、私たちは、GDPより人の幸せの最大化が目標なのだということ。
みのかも定住自立圏共生ビジョンの将来像は「ここに住むしあわせ HOTEリアみのかも」。一人一人の等身大の幸福感の充実、それこそがこのまちな成功の証しとなります。
このまちな「幸せの姿」を追い求めたい。そのために重要なのは、温かい人間関係です。社会とのつながり、他者とのつながりを持つこと自体が幸福感を高めることとなります。
つながりによって、さまざまな課題を自ら解くことが可能になり、人々の満足度は高まっていくでしょう。その結果として豊かさがついてくる新しい価値観を私たちは生みだそうとしているのです。



みのかも定住自立圏マスコットキャラクター

●問い合わせ
定住自立圏推進室 ☎内線 448

▼みのかも定住自立圏
日常生活の困りごとを解決するために、人々が連帯して助け合う共助が欠かせないように、少子化・高齢化・人口減少が進む時代に、行政がさまざまな課題を解決する方法は「連携する」ことです。
みのかも定住自立圏では、同じ生活圏の市町村が連携し、「人のつながり」によって生活に大切な機能を確保する取り組みを進めています。圏域を形成する市町村は、美濃加茂市、坂祝町、富加町、川辺町、七宗町、八百津町、白川町、東白川村です。
▼GDP(国内総生産)
日本の国内で、1年間に新しく生み出された生産物やサービスの金額の総計のことです。GDPはその国の経済の力の目安によく用いられます。また、経済成長率はGDPが1年間でどのくらい伸びたかを表わすものです。経済が好調なときはGDPの成長率は高くなり、逆に不調なときは低くなります。



2012 第67回 国民体育大会
ぎふ清流国体
輝けはばたけだれもが主役
美濃加茂市は成年女子バレーボール競技とパワーリフティング(デモスポ)の開催地です。



かも丸



シシ丸王国
代表
近藤 尊彦さん



(株)ふるさと企画
代表取締役
安江 豊司さん



飛騨川流域
まちづくりの会 代表
岩田 英樹さん



『福地そば』の会
代表
葛生 良一さん



加茂野農水産加工
グループ 代表
岸 篤司さん



みのかもファーマーズ
倶楽部 会長
春見 秀則さん



きそがわ日和実行委員会
実行委員長
篠田 康雄さん



NPO法人フレッシュ
マザーズ 理事長
渡邊 秀子さん



六調会
代表
村上 美世さん



ギター・マンドリン音楽
サークル(ひまわり) 代表
松田 富子さん



かも美

地域へのまなざし

たくさんの人とのつながり。誰かを幸せにしたい。思いやりとやさしさ、その積み重ねが自分も、地域も、そして社会も変えることができます。

過疎化、少子化、高齢化など地域社会が抱えるさまざまな課題に対し、同じ価値観を持つ立場で解決しようとしている人たちの思いを語っていただきました。

■事業に取り組もうと思ったきっかけは？

安江 少子高齢化は、特に地方で深刻な問題です。

そこで、自然豊かな地域の森林文化を生かした体験プログラムを開発して、交流人口を増やしていこうと思いました。

岩田 少子高齢化社会の到来と人口減少により、生活機能が低下してきています。

この状況を食い止め、安心して暮らせるまちづくりのきっかけをつくりたいと思いました。

葛生 地域力の低下や人口の高齢化による地域活動の弱体化が進んでいます。

こうした衰退の一途をたどる地方に一石を投じ、まだ出来ることのあることを人々に知ってもらいたいと思っています。地方でも住民共同の「仕事」をつ

■この地域をどんな地域にしたいと思っていますか？

近藤 定住自立圏に関わる人たちと情報を交換しつつ、より良い地域振興の形を模索できればよいと思います。

岩田 美濃加茂市を中心としたこの圏域が、それぞれの地域の特色を生かした活動を通じて、交流人口を増やし、元気なまちになるといいと思います。

葛生 高齢者も、これまで培ってきた経験を地域に提供し、また地域の伝統を生かし、豊かな社会を築いていくような、人間の豊かな社会(地域)にしていきたいと思っています。

岸 地域が保有する財産を利用して、新しい産物がどんどん生まれる環境を、世代を超えて共有し創造していける地域になると良いと思います。

春見 大規模農業が難しい土地柄でもあり、一人で新規に農業へ参入することは大変です。また、若手農業者も将来に期待が持てない人が多くいます。

新規農業者でも経営や販売先、営農方法などを一緒に勉強して、地域全体で元気の農業を応援してくれる、そんな農業環境をつくりたいと思います。

篠田 質の高い文化的な催しが日常的に行われていて、それを

くるとは可能だと思います。

岸 圃場整備された水田が耕作放棄地とならずに、収益を生む資産として活用することが21世紀に生きる農業者の使命だと思います。

春見 農業者の高齢化が進む中で、地域農業をどのようにして守っていくのかが重要な課題となつてきています。

その中でも若手農業者の育成と新規就農者の拡大が最優先と考え、みのかもファーマーズ倶楽部を立ち上げ、いろいろな人から応援してもらっています。

篠田 太田宿の町並みが気に入る、3年前に商売を始めました。より多くの人に太田宿の魅力を感じてもらおうことが、にぎわいを取り戻すきっかけになるのではと思っています。

渡邊 農業を通じて、いろんな

■皆さんの描く地域にするために必要なことは？

岩田 まずは、それぞれの地域が積極的な活動を行い、その存在を示し、住民自らが参加協力しようとする気持ちを育てることが大切だと思います。

葛生 異なる人間同士、連帯を求めて結び合うことが必要で、そのために共通の仕事をすることだと思っています。

岸 地域の発展に懸ける姿勢に共感し合える雰囲気を作さないことだと思います。

春見 自分たちの農産物を地元の人々に知ってもらい、食べてもらうことが重要だと思います。また、直接農産物を提供できない農業者でも自分の考えや農業に対する姿勢をPRすることが大事だと思います。

農業者と住民の皆さんとの橋渡し役がみのかもファーマーズ倶楽部だと思っています。

村上 友愛、仲間意識、どなたでも尊敬し敬意を払う心をみんなが育む姿勢だと思います。

つながる事業参加団体	活動拠点
●シシ丸王国	美濃加茂市
●株式会社ふるさと企画	東白川村
●飛騨川流域まちづくりの会	七宗町
●『福地そば』の会	八百津町
●加茂野農水産加工グループ	美濃加茂市
●みのかもファーマーズ倶楽部	美濃加茂市
●きそがわ日和実行委員会	美濃加茂市
●NPO法人フレッシュマザーズ	美濃加茂市
●六調会 (りくちょうかい)	美濃加茂市
●ギター・マンドリン音楽サークル (ひまわり)	坂祝町

人たちとの交流や、多くの高齢者や障がいがある人の雇用を創出したいと考えました。

村上 日本最古のオーケストラと言われる雅楽。日本古来の偉大な文化が広く伝わらないことが残念です。それは、聴く機会が少なく伝える人材もいないためだと思います。

そこで、敷居の高くない、誰にでも親しまれるこの地域独自の雅楽を開発し、地域の新しい文化として、皆さんと一緒に楽しみたいと考えています。

松田 介護をしてきた経験から、介護される人も介護する人も疲れていることがよく分かります。

そこで、息抜きできる、楽しんでもらえる時間を提供し、福祉に携わる人々たちを応援したいと思っています。

■何かを始めたいと考えている人たちにエールをください

近藤 どんな形でも、気後れしないで、周りの人に教えていただきたいながら試みる必要があります。はないかと思っています。

安江 チャレンジすることが必要です。はじめの一步を踏み出してください。

葛生 頭で考え心に感じたことを手足に伝え、手足の動きを心の動きとすること。常に高い志を掲げ生きること。楽しいこと、おもしろいことを共に生きる他者と分かち合うこと。人生は簡素に生きること。

春見 今は農業をやるチャンスです。仲間がいて、お互いに学びながら成長していける環境があります。一緒にカッコいい農業をやりましょう。

篠田 何か思うところがあるなら、取りあえずやってみましょう。

渡邊 私は人と人とのつながりにとても感謝しています。何かやりたいと思ったら、何人かの人に相談してみることが大切だと思います。

心配もありません。しかし、違いを持

住民といってもそれぞれモノの考
え方、感じ方、趣味嗜好も大きく異
なる人が集まって考えるものだから

みのかも定住自立圏の将来像と具
体的な取り組みを掲げた共生ビジョ
ンは、行政ではなく、我々住民や民
間事業者からなる懇談会とワーキン
ググループが主体となつて考えてき
たものです。

住みたいまちへの可能性を感じます

ち寄ること、これまで行政が
くつてきたありきたりの内容ではな
く、我々も参加したくなるようなお
もしろいものになったと思います。

今年の「つながる事業」も、住民
や民間事業者の皆さんからおもしろ
い提案をもらったようです。

みのかも定住自立圏を利用して能
力を付け、つながる力で問題を解決
していく人たちがどんどん現れてく
れば、まちに活気が出てきます。私
も「つながる事業」に注目していま
すし、団体の皆さんに期待します。

自分が楽しみながら公共的事業に
参加することは、これまで想像でき
ませんでした。しかし、難しいこと
がたくさんある時代だから、みんな
で助け合おうということでしょう。

何か地域総出でやっていた時代に
もどっているように感じます。

もしかしたら、新しいけれど古い
助け合いのできるみのかも定住自立
圏は、日本一住みやすいまちになる
かもしれません。

みのかも定住自立圏構想
共生ビジョン懇談会
会長 大矢 正昭さん

六調会

⇒地域独自の雅楽と舞を開発
雅楽は、日本最古の歴史あ
る音楽ですが、一般にはあまり
普及していません。
宮内庁楽部に助言を受け、
この地域への思いを取り入れ
た雅楽を作曲し、親しみやす
く分かりやすいオリジナルの
雅楽を作ろうとしています。
完成した楽曲と舞は、地域
の人たちと、お祭りなどで演
奏し、地域の新しい文化とし
ていきたいと考えています。



雅楽の演奏と舞



ギターやマンドリンの演奏

ギター・マンドリン音楽サークル(ひまわり)
⇒介護する人される人にホッとできる場を提供
介護が必要な家族を抱える
家族は、介護する人もされる
人も疲れてしまっている人が
多くいます。
自ら家族の介護をしてきた
経験から、その人たちに息抜
きができる時間を提供してい
こうと、施設などで、ギター
やマンドリンの生演奏など
を行っています。
誰もが楽しみを持てる地域
にしたいと思います。

きそがわ日和実行委員会

⇒アートで地域のにぎわいづくり
アートには、日常にあるも
のをいつもと違ったものに見
せる力や見落とししていたこ
とに気付かせる力があります。
中山道沿いの建物を利用し
た現代美術の展示など、ア
ートを通じて、地域のにぎわ
いを取り戻すきっかけとなる
ことを目指しています。
また、全くこの地域を知ら
なかった人をつなげる役割を
担っていると考えています。



昨年のきそがわ日和「川の家」



自家製のウメのシソ漬け作り

NPO法人フレッシュマザーズ
⇒農業で地域福祉活動を推進
農産物の栽培、加工品作り
と販売を通じて、高齢者や障
がい者に就労の機会を提供し
ています。
こうした場をつくったこと
により、生き生きとして働く
ことができ、いろいろな人と
交流することができて、みん
なに喜んでもらっています。
農作業は、共に地域に住む
仲間として誰もが喜びを感じ
られると実感しています。

加茂野農水産加工グループ

⇒農水産物の特産品研究開発
新たな水田利用として、マ
コモタケ(イネ科)、ホンモ
ロコ、ドジョウの育成と共生
を研究しています。
また、それらを使った佃煮
などの加工品を作り、農水産
物の地産地消と活気ある農村
社会を目指していきます。
この活動を通じて、高齢者
の生きがいづくりや、景観づ
くりも行っていきたいと思っ
ています。



ホンモロコとマコモタケ



メンバーが行く「軽トラ市」

みのかもファーマーズ倶楽部
⇒農業生産と担い手の育成
住民、企業、各種団体、農
家がつながり、地域全体で支
える農業の環境づくりを目指
しています。
そこで、遊休地を借り上げ
て整備し、新たな農業の担い
手づくりを進めています。
今年は、農業を始めたばかり
の若者をサポートする組織
や、生産から販売まで一貫し
たビジネスモデルを確立した
と考えています。

飛騨川流域まちづくりの会

⇒飛騨川流域の観光資源発掘
世代を超えた住民が知恵を
出し合い、飛騨川の「龍神さ
ん」をシンボルとして、龍神
コンサート、龍神パワース
ポットウオーキング、観光ボ
ランティアの育成を行うなど
、手づくりのまちづくりを
進めようとしています。
そして、飛騨川流域が「い
やしのスポット」として、リ
ピート客でいっぱいになるこ
とを目指しています。



龍神コンサート



紅い花が咲く「高嶺ルビーそば」

『福地そば』の会
⇒耕作放棄地再生と環境美化
若者の都市への流出や高齢
化に伴い農業意欲が低迷し耕
作放棄地が拡大しています。
そこで、耕作放棄地を整備
し、そば畑作りを進めていま
す。紅いそばの花は、珍しく
集客が期待できるほか、廃校
となった福地中学校で、そば
打ち講習会も開催します。
Iターン移住者である私た
ちだからこそ、このまちの魅
力が分かります。

シシ丸王国

⇒シシ肉を有効活用
地域の活性化を目指して、
シシ肉を使った商品開発を始
めました。そして、各地のお
祭りなどでシシ肉カレーの試
食販売を行い、お客さんの声
を聞いて改善し、特産品にし
ていこうとしています。
また、活動を通じて地域の
人たちと連携し、他の農産品
などの有効活用につなげて、
協力者やファンをつくってい
きたいと考えています。



シシ肉を使ったカレーライス



中学生の林業体験

(株)ふるさと企画
⇒森林文化にふれる山村体験
自然の大切さや先人が守っ
てきた貴重な財産を、次世代
へとつなげることの大切さを
知ってもらう機会を提供して
いきます。
夏休みに小学生の親子にモ
ニターとなってもらい、のこ
ぎりを使った間伐、森の宝物
さがしウォークなどの体験を
通じて、山と川につながり、
森の大切さを感じてもらいま
す。

つながる事業の活動を紹介